

新規採用教員へのインタビュー



岸本 佳奈 きしもと かな
勝央町立勝間田小学校 教諭
(令和7年度採用)

自己紹介

岡山県出身です。令和7年度、小学校教諭として採用されました。5年生33人を担任しています。休日は友人と買い物や食事をしてリフレッシュしています。

Q 教員を目指した理由を教えてください。

私は幼い頃から世話好きな性格で、人が困っていたら助けてあげたい、分らないことがあったら教えてあげたいという気持ちが強いです。もともとの性格もあって、保育園の時から「先生って素敵で職業だな」と思っていました。

小学校の先生を目指した大きなきっかけは、小学校5、6年生の時の担任の先生との出会いです。5年生の時の担任の先生は、一人一人の様子にいつもきめ細やかに目を配ってくださっていて、「先生は私のことを分かってくれる」「頑張りを知

ってくれている」という安心感を与えてくださる存在でした。当時の私は、前に出たい気持ちはあっても緊張や不安で行動に移せないところがありました。そこを先生は見抜いて「あなたなら前に出たときもみんな付いてきてくれるよ」と背中を押してくださいました。その言葉が大き

な励みとなり、前に出ることができるようになりました。時には、全校を引っ張ることに挑戦しました。そして、卒業式の日には、机の上に先生から手紙が置いてあり、「前に出てみんなを引っ張ることができているね。良いところが発揮できているよ」と書かれていました。手紙を読んだ時、本当に嬉しかったです。

6年生の時の担任の先生は、学級経営がとてもお上手で、みんなが朝のボランティアを進んでするようなクラスでした。先生の声かけもお上手で、一年

を通じてクラスの士気が高かったことを覚えていきます。一年間、「ほめ言葉のシャワー」という、子ども同士で褒め合う取組をしてくださり、表面的な言葉ではなく、内面を具体的に褒めてもらう経験をすることができました。一つ一つの頑張りをきちんと価値づけてくださる先生で、クラスの雰囲気もとても良く、毎日がとても楽しかったです。



授業研究の様子

Q

児童との関わり方で大切にしていることはありますか。

子どもたちの良いところを見

つけて伸ばす関わり方を大事にしています。

33人のクラスなので、毎日全員と話すことはなかなか難しいのですが、毎週提出してもらう自主学習ノートには必ず一人一人にコメントを書くことを自分のモットーとしています。コメントを書くときは、単に「素晴らしいね」と伝えるのではなく、「どんなところが素晴らしいのか」を具体的に言葉で伝えるよう心がけています。中には、書かれたコメントを他の児童に見せている児童がいたり、保護者の方からも「先生のコメントを読んで嬉しかったです」と声をかけていただいたりすることもありました。

また、子どもたちへの声かけの仕方については、今後の課題だと感じています。拠点校初任者指導の先生から「もう少し褒める言葉を増やしてもいいと思う」とご助言いただいたこともあり、必要な場面ですっかり注意ができていたか、逆に注意ばかりになっていないかを振り返るようにになりました。注意した

後の子どもたちの様子をよく見て、「このときはこう声をかけた方がよかった」と振り返るようになっています。

Q 今年度4月に新採用となり、この半年はどうでしたか。

子どもたちがとても可愛く、毎日が楽しいです。赴任当初、「岸本先生は来たばかりだから」と、子どもたちが「手伝うよ」と声をかけてくれたことが印象に残っています。クラスの子どもたちは、相手が困っていることに気づいたら、自然と助けようと行動できる優しい子ども



運動会の様子

もたちです。子どもたちに助けてもらうことがたくさんありました。また、運動会や朝学習交流などを通して他の学年との関わりも増え、他の学年の子どもたちが話しかけてくれるようになり、嬉しく思っています。

Q 職場の環境はどうですか。

少しでも困った表情をしていると、すぐに声をかけてくださるなど、温かい雰囲気職場です。本校の5年生は2クラスあり、もう一方のクラスの先生は、授業づくりや保護者対応のことなど私が見通しを持って取り組めるように、先回りして声をかけてくださいます。大学でのボランティアや教育実習では低学年の児童と関わる経験が多かったため、5年生の担任と聞いたときは大丈夫だろうかと不安な気持ちもありましたが、先生方のおかげで、毎日楽しく勤務することができています。担任をしてみて、言葉のコミュニケーションがしっかりできるなど、高学年ならではの魅力も感じています。

日頃支えていただいている分、11月の音楽発表会では、先生方に感謝をお返しする気持ちで積極的に準備に励んでいます。ピアノや吹奏楽の経験を生かして、少しでも学校や学年に貢献できたらと思っています。

Q 今後の抱負を教えてください。

子どもたちや保護者の方と関わる中で、「こういうときはどうしたらよいのだろう」と悩むことがあります。もっと自信をもって対応できるよう、経験を積んでいきたいと思っています。

また、授業力を高めるとともに、事務的な仕事についても、より効率的に進められるようになりたいと考えています。「どうしたら効率よくできるか」を日々考えながら、工夫して取り組んでいきたいです。

Q 最後に、是非伝えたいことはありますか。

実は就職の時、先生になるかアパレル業界に進むかで悩みました。洋服が好きで、大学では

アパレルショップでアルバイトをしました。接客は楽しく、アパレル業界に魅力も感じたのですが、最終的に決め手となったのは4週間の教育実習です。授業準備は大変でしたが、それ以上に子どもたちと関わる毎日が楽しく、やりがいを実感しました。

実際に学校に勤めてみて、子どもたちと一緒に自分自身も成長することができると感じています。子どもたちに「成長しよう」と伝える以上、自身も成長し続けようという気持ちで日々を過ごしています。



海事研修の様子